

令和2年度第1回四街道市保健福祉審議会
会議次第（書面開催）

1 会長選出

2 議 題

- ①令和2年度に策定を行う各計画の概要及び策定スケジュールについて
- ・第3次四街道市地域福祉計画
 - ・四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第8期計画）
 - ・第6期四街道市障害福祉計画及び第2期四街道市障害児福祉計画

- ②第3次四街道市地域福祉計画策定のためのアンケート調査（案）について

3 その他

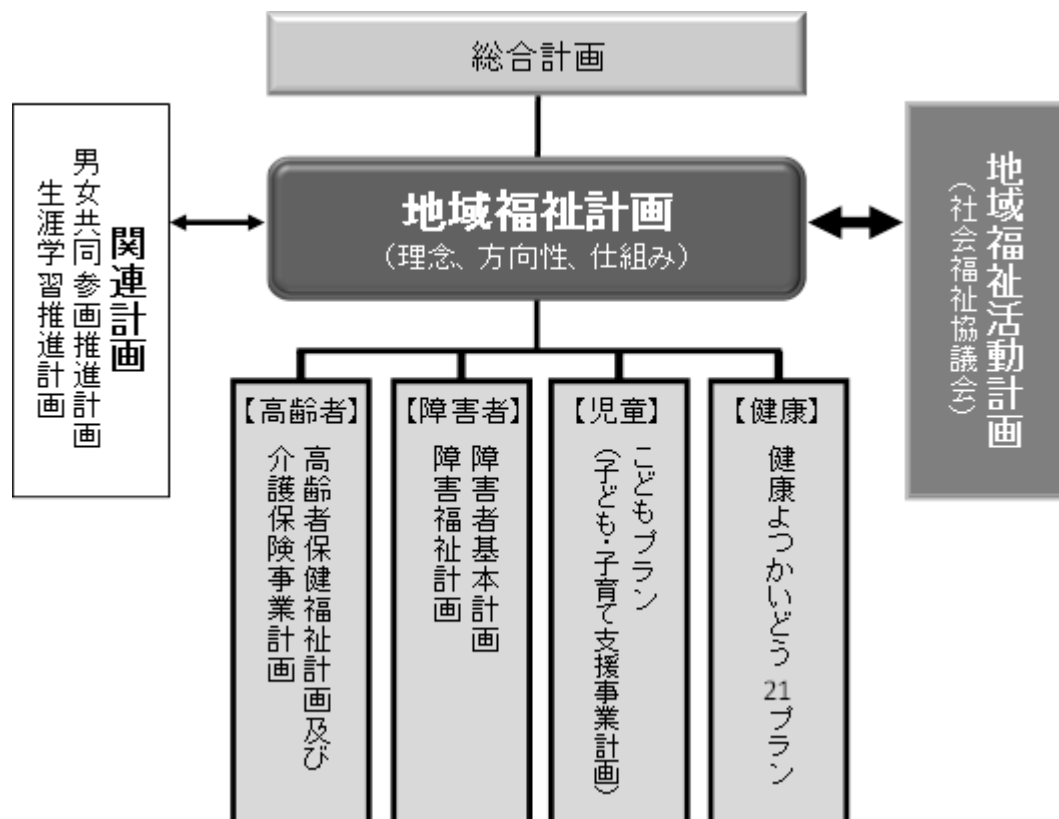
部会の設置について

第 3 次四街道市地域福祉計画の策定について

1. 計画の概要

- 社会福祉法第 107 条の規定に基づく「市町村地域福祉計画」として位置づけ
- 地域福祉を推進する上で、基本的な考え方や共助の活動を促進するための取り組み方針を定める
- 各福祉分野が共通して取り組むべき事項を記載する福祉分野における「上位計画」
- 市総合計画後期基本計画においては、基本目標 1－施策 6「福祉のまちづくりの推進」に位置づけ

(参考 地域福祉計画と各計画の関連図)



2. 策定方針

- 現行計画の施策を継承・発展させるとともに、平成 30 年 4 月に改正された社会福祉法に伴い、国より地域福祉計画策定のガイドラインが示されたことから、ガイドラインの内容に沿った計画とする。

3. 計画期間

令和 3 年度～7 年度（5 年間）

4. 市民参加

○アンケート調査

- ・対象者：市内に居住する 18 歳以上の男女 2,000 人
- ・抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- ・調査方法：郵送配布・郵送提出
- ・実施時期：令和 2 年 6 月

○地域福祉関連団体の意見聴取

地域福祉の現状と課題を分析するため、関連する団体にヒアリングを実施

- ・対象団体：地域福祉の根幹を担う団体を選定（社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、更生保護女性会、保護司、シニアクラブ、ボランティア連絡協議会、赤十字奉仕団、保健推進員、みんなで地域づくりセンター利用団体等を想定）
- ・実施時期：令和 2 年 6 月～7 月

○保健福祉審議会（公募市民による審議）

- ・本会における諮問・答申、部会（3 回程度）において審議を行う。

○パブリックコメント

- ・令和 3 年 2 月実施

5. 策定スケジュール

別紙参照

第3次四街道市地域福祉計画 策定スケジュール

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1. アンケート調査	調査項目案		・項目確定 ・対象者リスト作成	発送・回収	集計・速報									18歳以上の市民2,000名
2. 団体意見交換会				アンケート意見交換会	集計速報									社会福祉協議会等地域福祉関係団体
3. 保健福祉審議会			① 諮問									② 答申		
4. 部会（保健福祉審議会）						①			②		③			保健福祉審議会に部会を設置
5. 策定委員会（庁内委員会）						①			②		③			政策調整担当
6. パブリックコメント												意見募集		意見募集期間30日間
7. その他			進捗状況調査					素案確認		素案最終確認				
特記事項	<p>保健福祉審議会 ①諮問、部会の設置、スケジュール、アンケート調査の趣旨・内容 ②計画最終案、答申</p> <p>部会 ①現行計画の進捗評価、アンケート調査の結果報告（速報版）、意見交換会の報告、骨子案 ②計画素案 ③計画最終案</p> <p>策定委員会 ①現行計画の進捗評価、アンケート調査の結果報告（速報版）、意見交換会の報告、骨子案 ②計画素案 ③計画最終案</p> <p>議会対応 6月議会（教育民生常任委員会協議会） 計画の概要及びスケジュール説明 3月議会（全員協議会）計画の概要説明</p>													

四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第 8 期計画）の 策定について

1. 計画の概要

高齢者保健福祉計画は老人福祉法第 20 条の 8 に、介護保険事業計画は介護保険法第 117 条にそれぞれ基づき策定するもの。

両計画は密接に関連していることから一体のものとして策定しており、介護保険事業計画の 3 年ごとの見直しに合わせ一体的に見直している。

2. 市民参加

①アンケート調査

- ・在宅介護実態調査 在宅の要支援・要介護認定者 1,500名
 - ・日常生活圏域ニーズ調査 一般高齢者・要支援認定者 1,500名
- ※両アンケート共に国から設問が示される予定

②市民・介護事業者意見交換会

- ・介護家族団体（虹の会）
- ・ケアマネジャー協議会、デイサービス・デイケア協議会
訪問介護事業者連絡協議会、認知症の人を支える有志会

③保健福祉審議会及び高齢者部会

- ・本会 2 回、部会 3 回程度の開催を想定。

④パブリックコメント

3. 庁内検討体制

関係政策担当で構成する「四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会」を設置。3 回程度の開催を想定。

4. 策定スケジュール（裏面参照）

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 策定スケジュール

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
1.アンケート調査	① ②		発送 回収			集計速報								要支援・要介護認定者調査 1,500名 日常生活圏域ニーズ調査 1,500名
2.意見交換会			実施			意見集約								介護家族会 介護事業者
3.保健福祉審議会		①									②			
4.高齢者部会							①		②	③				保健福祉審議会に部会を設置
5.策定委員会 (庁内委員会)							①		②	③				政策調整担当
6.パブリックコメント												意見募集		意見募集期間30日
7.その他				7期計画の 進捗状況調査 集計・分析・評価				個別事業の 文案調整						
特記事項		<p>アンケート調査 ①調査項目の確定 ②対象者リストの作成</p> <p>保健福祉審議会 ①諮問・高齢者部会の設置・スケジュール・アンケート調査 ②計画最終案・答申</p> <p>策定委員会 ①計画進捗評価・アンケート速報値報告・意見交換会報告・計画骨子案 ②計画素案・介護保険サービス見込量(案)・介護保険料(案)等 ③計画最終案</p> <p>高齢者部会 ①計画進捗評価・アンケート速報値報告・意見交換会報告・計画骨子案 ②計画素案・介護保険サービス見込量(案)・介護保険料(案)等 ③計画最終案</p> <p>議会対応 6月議会(教育民生常任委員会協議会)計画の概要及びスケジュール説明 3月議会(全員協議会)計画の概要説明</p>												

第 6 期四街道市障害福祉計画及び第 2 期四街道市障害児福祉計画の 策定について

1. 計画の概要

障害福祉計画は、障害者総合支援法第 88 条に基づき策定するもので、主に障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の提供体制の確保に係る目標及び各サービス量の見込みについて、各年度の計画を策定するものです。

障害児福祉計画は、児童福祉法の改正により平成 30 年 4 月から追加された同法第 33 条の 20 に基づき策定する計画で、障害児通所支援及び障害児相談支援の提供体制の確保などに係る目標に関する事項と各サービス量の見込みについて、各年度の計画を策定するものです。

なお、両計画とも令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 か年計画となります。

2. 策定方針

・両計画とも、目標とする数値及びサービスの必要見込量を定める計画となります。必要見込量の推計に必要とするサービス量のデータは、障害者支援課で保有していることから、このデータを活用し複数年度の推移を基に推計します。

・施策の策定では無く、数値を示す計画であることから、保有しているサービス量のデータを基に数値を推計し策定するので、市民アンケートは実施しません。

・両計画とも、今後国が示すそれぞれの基本指針に即して策定します。基本指針には、目標の考え方、数値の設定の仕方などが示されますので、コンサルタント委託はせずに、職員により作成します。

3. 意見聴取

①関係団体から意見聴取

市内の当事者団体及び家族会 10 団体から調査票により意見聴取予定

②四街道市障害者自立支援協議会

3 回開催予定

③四街道市保健福祉審議会

本会 2 回、部会 2 回程度を開催予定

④パブリックコメント

2 月に実施予定

4. 策定スケジュール（裏面参照）

第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画策定スケジュール

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考		
計画構成		調査期間					計画検討期間			計画案作成期間			計画最終案			
1. 現計画進捗状況調査		調査期間														
2. 障害福祉・障害児福祉サービス見込み量の検討							検討期間									
3. 保健福祉審議会			①									②				
4. 保健福祉審議会 障害者部会									①			②		保健福祉審議会に部会を設置		
5. 障害者自立支援協議会				①						②			③			
6. 障害者団体の意見聴取					実施期間											
7. パブリックコメント												募集期間		意見募集期間30日間		
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉審議会 <ul style="list-style-type: none"> ① 諮問・部会の設置、計画の概要及びスケジュールについて ② 計画最終案について・答申 ・保健福祉協議会 障害者部会 <ul style="list-style-type: none"> ① 現行計画の進捗状況及び計画素案について ② 計画最終案について ・障害者自立支援協議会 <ul style="list-style-type: none"> ① 計画の概要及びスケジュールについて ② 現行計画の進捗状況及び計画素案について ③ 計画最終案について ・障害者団体の意見聴取 <ul style="list-style-type: none"> 市内の障害者団体から意見聴取(調査票の送付により) ・議会対応 <ul style="list-style-type: none"> 6月議会(教育民政常任委員会協議会) 計画の概要及びスケジュール説明 3月議会(全員協議会) 計画の概要説明 														

第3次四街道市地域福祉計画策定のための 市民アンケート調査

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

四街道市では、平成28年3月に策定した「第2次四街道市地域福祉計画」にもとづき、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、関係団体などと連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進めております。


このたび、次期計画策定にあたり、ご近所付き合いや地域活動への参加状況などの実態とともに、地域福祉などに対する住民の皆さんの考え方やご意見を広くお聞きするためのアンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、四街道市にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。調査結果は、統計的に処理しますので、この調査を目的外に使用することはありません。つきましては、趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

令和2年6月

四街道市長 佐渡 斉

ご記入にあたってのお願い

- ①質問には、あて名のご本人がご回答ください。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きの上、代理でご記入ください。
- ②ご記入は、黒のボールペン、または濃い鉛筆でお願いします。
- ③質問によって、○印は（ひとつ）（3つまで）といった、ことわり書きが付してありますので、説明に従ってご回答ください。
また、○印は、番号を囲むようにつけてください。例) 
- ④お答えで「その他」を選んだときは、（ ）内にその内容を具体的に記入してください。

ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

6月23日（火）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

（お名前やご住所の記入は不要です）

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

四街道市役所 福祉サービス部 社会福祉課

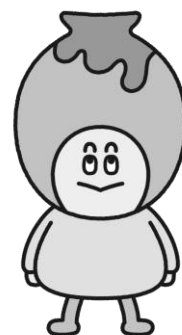
担当：安井、秋山

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地

電話：043-421-6121（直通）

FAX：043-424-2011

E-mail：yshafuku@city.yotsukaido.chiba.jp



よつぼくん

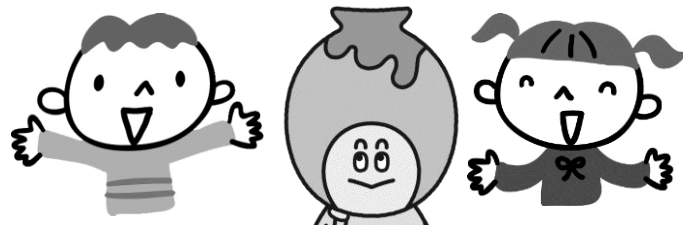
「ドラマチック四街道プロジェクト」
ナビゲーター

地域福祉って何？

ふだんの生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？
子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…、など。こういった不安や不便さは、ほんの少しの手助けや気づかいで解決できることがたくさんあります。

「地域福祉」とはそういった問題を地域の中で解決し、「**住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、市民が主役で進める取り組み**」のことをいいます。

例えば、近所の人にあいさつすることや子どもの安全を地域で見守ることなども、地域福祉の活動といえます。



■ 地域福祉計画が目指すもの

四街道市では、

「みんなで助け合い・支え合い 安心して、いきいき暮らせるまち 四街道
を目指して、地域福祉を推進しています！

そのためには？

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている
地域の皆さんの参加と協力が必要不可欠となります。

**市民参加の一環として、アンケート調査へのご協力を
よろしくお願いします。**



問 7 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。
(あてはまるものすべてに○)

1 乳児（1歳未満）	2 幼児（1歳から就学前まで）
3 小学生	4 中学生・高校生
5 65歳以上の人	6 介護を必要とする人
7 身体・知的・精神などの障がいのある人	8 いずれもない

2. 「地域との関わり」についておたずねします。

問 8 あなたは、現在、ご近所とどのようなお付き合いをされていますか。（ひとつだけ○）

1 困った時に、助け合える関係	2 自治会などの行事の時だけ付き合う程度
3 たまに立ち話をする程度	4 会えばあいさつをする程度
5 ほとんど付き合いはない	6 その他（ ）

問 9 あなたは、今後、ご近所とどのようなお付き合いができるかと思えますか。
(ひとつだけ○)

1 困った時に、助け合える関係	2 自治会などの行事の時だけ付き合いたい
3 たまに立ち話をする程度でよい	4 会えばあいさつをする程度でよい
5 あまり付き合いたくない	6 その他（ ）

問 10 現在お住まいの地域との関わりについて、あなたは満足していますか。（ひとつだけ○）

1 満足している	2 まあまあ満足している	3 どちらでもない
4 あまり満足していない	5 満足していない	

問 11 地域の問題とあなたの関わりについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(ひとつだけ○)

1 地域の問題にはできるだけ主体的に関わっていきたい
2 地域の問題に熱心に取り組んでいる方のお手伝いはしたい
3 地域の問題に関わっていきたいが、実際に関わることは難しい
4 地域の問題には関わりたくない

問 12 「地域福祉」とは、支援を必要としている人をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民が主役で進める取り組みのことです。あなたは「地域福祉」に関心をおもちですか。（ひとつだけ○）

1 とても関心がある	2 ある程度関心がある
3 あまり関心がない	4 まったく関心がない

3. 「地域の活動」についておたずねします。

問 13-1 あなたは現在、地域で活動していますか。(ひとつだけ○)

1 活動している	2 活動していない
----------	-----------

↓

↓

問 13 - 4へ

(問 13-1で「1」を選んだ人におたずねします。)

問 13-2 あなたは地域で、どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 高齢者支援に関する活動	2 障がい者支援に関する活動
3 子育て家庭の支援に関する活動	4 健康づくりに関する活動
5 地域の清掃・美化に関する活動	6 街の活性化などに関する活動
7 防犯・交通安全に関する活動	8 消防・防災・災害支援に関する活動
9 自然環境保護に関する活動	10 ごみ・リサイクルに関する活動
11 文化・芸術、スポーツに関する活動	
12 その他 ()	

(問 13-1で「1」を選んだ人におたずねします。)

問 13-3 活動に参加している理由として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。
(ひとつだけ○)

1 活動自体が楽しく興味のある内容だから
2 活動に参加すると自分や自分の家族に有利になるから
3 活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから
4 身近な地域のために役立ちたいから
5 その他 ()
6 わからない

→ 問 14へ

(問 13-1で「2」を選んだ人におたずねします。)

問 13-4 あなたが現在活動に参加していない主な理由として、あてはまるものはどれですか。
(主なもの2つまでに○)

1 楽しく興味のある活動内容がないから
2 身近な地域のことには関心がないから
3 仕事や学業などで忙しく時間がないから
4 どのような活動があるのか知らないから
5 体力的に自信がないから
6 人付き合いが面倒だから
7 その他 ()
8 わからない

問 14 今後、地域の活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。

(主なもの5つまでに○)

- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 1 | 学校教育で重要性を教える | |
| 2 | 生涯学習で啓発活動を行う | |
| 3 | ある程度強制的な参加体制をつくる | |
| 4 | 行政主導で組織づくりを進める | |
| 5 | 若い人の参加を促す | |
| 6 | 元気な高齢者の参加を促す | |
| 7 | 友人や家族と参加できる活動を増やす | |
| 8 | 身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体などを育成する | |
| 9 | 地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる | |
| 10 | 身近な地域に活動拠点を設置する | |
| 11 | 地域の活動に関する相談・問い合わせなどを一本化する | |
| 12 | 活動内容などについて積極的にPRする | |
| 13 | 企業に労働時間の短縮やボランティア休暇などの普及を要請する | |
| 14 | 企業に対して資金援助を要請する | |
| 15 | ボランティア団体間の連携を強化する | |
| 16 | 興味や関心を持てる活動内容にする | |
| 17 | 時間的に負担の少ない活動内容にする | |
| 18 | 体力的に負担の少ない活動にする | |
| 19 | 人間関係が負担にならないようにする | |
| 20 | 活動の中で趣味や特技、専門知識を生かせるようにする | |
| 21 | 知識・技術を有する人材やリーダーを養成する | |
| 22 | 表彰を行うなど社会的評価を高める | |
| 23 | 交通費などの実費を支払うようにする | |
| 24 | 少額でも報酬が支払われるようにする | |
| 25 | 活動資金や物品などを補助する | |
| 26 | 事故があった時の補償体制をつくる | |
| 27 | その他 (|) |
| 28 | わからない | |

問 15 あなたは、今後、地域の活動やボランティア活動に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|----------------------|---|----------------|
| 1 | 積極的に取り組んでいきたい | 2 | できるだけ取り組んでいきたい |
| 3 | 機会があれば取り組んでもよい | 4 | あまり取り組みたくない |
| 5 | 取り組むことができない／取り組みたくない | | |

4. 「福祉の考え方」についておたずねします。

問 16-1 四街道市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(ひとつだけ○)

1 暮らしやすいと思う	2 まあまあ暮らしやすいと思う	→ 問 17へ
3 あまり暮らしやすいとは思わない	4 暮らしやすいとは思わない	→ 問 16-2へ
5 わからない		→ 問 17へ

(問 16-1で「3」または「4」を選んだ人におたずねします。)

問 16-2 暮らしにくいと思う理由は何ですか。(主なものを3つまでに○)

1 地域住民の理解や協力が少ない	2 交通機関が不便・利用しにくい
3 利用できる医療機関が少ない	4 買い物などが不便
5 生活の悩みを相談できる窓口が少ない	6 教育・進学相談できる窓口が少ない
7 公民館など利用しやすい公共施設が少ない	8 身近に働く場所や就労相談できる窓口が少ない
9 防犯・防災対策が十分ではない	10 リハビリや療養のための施設が少ない
11 親子で遊べる場所が少ない	12 日常生活を支える福祉サービスが少ない
13 その他 ()	

問 17 現在、あなた自身や同居する家族の方で困っていることはありますか。また、お住まいの地域で、困っている人がいますか。(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

項目	①あなたご自身や同居する家族の方で困っていることの有無	②お住まいの地域で、困っている人の有無
1 一人暮らしで不安や心細い思いをしている(人がいる)	1	1
2 障がいなどのために必要な情報が届かず困っている(人がいる)	2	2
3 高齢者、障がい者など、介助者がおらず一人暮らしをしている(人がいる)	3	3
4 買い物などの外出が一人ではできない(人がいる)	4	4
5 草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている(人がいる)	5	5
6 食事づくりや洗濯などの家事をすることができない(人がいる)	6	6
7 日常生活での金銭管理がうまくできない(人がいる)	7	7
8 地域社会から孤立してひきこもりになっている(人がいる)	8	8
9 子育て・育児で不安や悩みを抱えている(人がいる)	9	9
10 外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができなくて困っている(人がいる)	10	10
11 虐待で困っている(人がいる)	11	11
12 仕事がなく生活に困っている(人がいる)	12	12
13 その他	13 ()	13 ()
14 特にない(困っている人を知らない)	14	14

5. 「地域の変化」についておたずねします。

問 18 現在と今後の四街道市についてお伺いします。

現在、地域で暮らす中で、良いと思っていること、変わるとよいと思っていることは何ですか。

(「①良いと思っていること」、「②変わるとよいと思っていること」に、それぞれ3つずつ○)

項目	① 良いと思っ ていること	② 変わると よいと思っ ていること
1 地域の見守りや助け合いがあり、安心して暮らせる	1	1
2 家族のコミュニケーションが活発で結びつきが強い	2	2
3 地域での交流が活発である	3	3
4 いじめ、差別や偏見がない	4	4
5 日本で生活している外国の人たちとの交流が活発である	5	5
6 経済的な生活の不安がない	6	6
7 生涯にわたって、自らの健康を守り、健康づくりができる	7	7
8 介護する人が身体的・精神的な負担から開放されている	8	8
9 誰もが、仕事と生活を両立しながら、自分の希望する働き方ができる	9	9
10 ボランティア活動やNPO*活動が活発である	10	10
11 生涯にわたって、学ぶことができ、その成果を活かすことができる	11	11
12 寝たきりや病気がちになっても生涯自分の家で暮らせる	12	12
13 障がいのある人たちが安心して外出できる基盤が充実している	13	13
14 災害時の地域における支援の仕組みがあり安心して暮らせる	14	14
15 安心して夜間外出できるなど治安が安定している	15	15
16 まちが清潔で自然も多く、憩いと安らぎを得られる	16	16

※NPO：民間の非営利組織のことで、政府・自治体や企業には含まれず、利益追求のためではなく、様々な社会問題の解決をめざして自立的に活動する組織・団体。

6. 「地域における支え合い」についておたずねします。

問 19 民生委員・児童委員は社会福祉の精神を持って、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会を目指して、さまざまな活動を行っています。

あなたはお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|--------------|------------|--------|
| 1 顔と名前を知っている | 2 名前を知っている | 3 知らない |
|--------------|------------|--------|

問 20 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知のものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 日常生活の悩みや心配事の相談 | 2 福祉に関する情報の提供 |
| 3 高齢者など支援が必要な人への訪問 | 4 子どもに関する相談 |
| 5 関係行政機関の依頼による事実確認 | 6 いずれも知らない |

問 21 あなたは社会福祉協議会をご存じですか。(ひとつだけ○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 名前も活動の内容もよく知っている |
| 2 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない |
| 3 名前も活動の内容もよく知らない |

7. 「福祉に関する情報・相談など」についておたずねします。

問 22 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 家族・親戚 | 2 近所の人、友人・知人 |
| 3 民生委員・児童委員 | 4 学校や職場 |
| 5 市の広報紙やパンフレット | 6 市のホームページ |
| 7 市役所の窓口(保健センターなどを含む) | 8 社会福祉協議会の窓口 |
| 9 社会福祉協議会の広報紙やパンフレット | 10 保健所 |
| 11 医療機関(医師・看護師など)や薬局 | 12 NPO やその他の民間団体 |
| 13 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど | |
| 14 市のホームページ以外のインターネットの情報サイト | |
| 15 特にない | |
| 16 その他 () | |

問 23 福祉に関する行事や講座などにどの程度参加していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|------------------------|
| 1 よく参加している | 2 ある程度参加している |
| 3 あまり参加していない | 4 ほとんど、あるいはまったく参加していない |

問 27 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき、誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1 家族・親戚	2 近所の人
3 知人・友人	4 同じ悩みを持つ仲間
5 職場の人	6 医療機関の医師
7 自治会(町会)役員	8 民生委員・児童委員
9 社会福祉協議会	10 子育て支援センター
11 地域包括支援センター	12 障がい者相談支援事業所
13 警察	14 新聞・雑誌・テレビ・ラジオなど
15 NPO などの民間団体	16 市役所
17 相談する人がいない	18 相談するつもりはない
19 その他 ()	

問 28-1 あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり、不満に思ったことはありますか。(ひとつだけ○)

1 福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことがある	→ 問 28-2 へ
2 福祉サービスの利用に際し、不都合や不満を感じたことはない	→ 問 29 へ
3 現在のところ、福祉サービスを必要としていない	→ 問 29 へ

(問 28-1 で「1」を選んだ人におたずねします。)

問 28-2 不都合を感じたり、不満に思ったことは、どのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 福祉サービスに関する情報が入手しづらかった
2 どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった
3 相談窓口が自宅から遠く、不便だった(移動が面倒だった)
4 相談窓口の開設時間が限られており、利用しづらかった
5 利用を申し込んだが、窓口でたらいまわしにされた
6 複数の窓口にわたり、面倒だった
7 利用手続きが煩雑だった
8 窓口の対応が悪かった
9 どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった
10 利用したいサービスが利用できなかった
11 サービス内容に満足しなかった
12 その他 ()

8. 「防災」についておたずねします。

問 29 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(ひとつだけ○)

- 1 参加している
- 2 以前参加したことはあるが、現在は参加していない
- 3 参加したことはない

問 30 災害時についての不安や心配ごとがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 避難場所・避難所がわからないこと
- 2 避難場所・避難所が遠いこと
- 3 ご自身又は同居家族が災害時に1人で避難することが困難なこと
- 4 近所に1人で避難することが困難な人がいること
- 5 乳幼児がいたり、障がいがあることなどのため、避難所で過ごすことが困難なこと
- 6 災害時の情報がわかりづらいこと
- 7 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
- 8 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
- 9 老朽化などお住い(家屋)のこと
- 10 その他()
- 11 特にない

9. 「福祉教育・学習」についておたずねします。

問 31 福祉教育・学習(思いやりの心や福祉への理解と参加の心を育てる教育・学習)について、どのように行うべきだと思いますか。(ひとつだけ○)

- 1 学校教育の中で学ぶ
- 2 家庭の中で親などから学ぶ
- 3 地域の活動などを通じて学ぶ
- 4 生活していく中で自然に身につく
- 5 その他()
- 6 特に必要はない
- 7 わからない

問 32 より暮らしやすい地域社会の実現に向けては、福祉はもちろん、より幅広い分野について、関心をもつ方や活動する方が増えることも重要なことといえます。

今後、学びたい・活動したいと思うものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 高齢者支援に関する活動	2 障がい者支援に関する活動
3 子育て支援に関する活動	4 健康づくり・医療に関する活動
5 地域の清掃・美化に関する活動	6 街の活性化などに関する活動
7 防犯・交通安全に関する活動	8 消防・防災・災害支援に関する活動
9 自然環境保護に関する活動	10 ごみ・リサイクルに関する活動
11 文化・芸術、スポーツに関する活動	
12 その他 ()	

10. 「福祉全般」についておたずねします。

問 33 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。

(ア～エの項目にそれぞれひとつずつ○)

項目	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ア 住民同士のつながり・支え合いがある	1	2	3	4	5
イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い	1	2	3	4	5
ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある	1	2	3	4	5
エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる	1	2	3	4	5

問 34 四街道市の、福祉関連の分野の施策について、

①下記項目の現状についてどう思われますか。(ア～タの項目にそれぞれひとつずつ○)

②また、今後どの分野に力を入れるべきと思いますか。

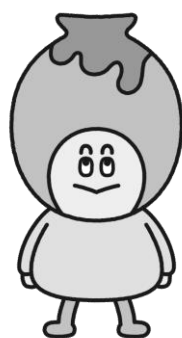
(ア～タの項目の中で、主なもの5つまでに○)

項目	①現状					② 今後
	大変 良い	まあ 良い	どちら でもない	やや 悪い	悪い	
ア 地域資源の活用(人的資源・公共施設・民間施設の活用)	1	2	3	4	5	ア
イ ボランティア意識の醸成(ボランティア講座・学校教育・生涯学習の充実)	1	2	3	4	5	イ
ウ 社会福祉協議会・ボランティア団体やNPOなどへの支援の充実	1	2	3	4	5	ウ
エ 地域交流事業の促進(地域情報の発信、世代間交流の活発化、地域交流のイベントの支援)	1	2	3	4	5	エ
オ 生きがいの創造(生涯学習の推進、サークル活動の支援など)	1	2	3	4	5	オ
カ 健康の保持・増進を図る健康づくり	1	2	3	4	5	カ
キ 道路や交通環境・建物などのバリアフリー化	1	2	3	4	5	キ
ク 一人暮らしの高齢者や障がいのある人に対する災害時の支援体制の整備	1	2	3	4	5	ク
ケ 高齢者が安心して暮らせる在宅福祉施策	1	2	3	4	5	ケ
コ 障がいのある人が安心して暮らせる在宅福祉施策	1	2	3	4	5	コ
サ 子育てが安心してできる子育て支援施策	1	2	3	4	5	サ
シ 急病でも対応できるなど医療体制の整備	1	2	3	4	5	シ
ス 生活困窮者への経済的支援施策	1	2	3	4	5	ス
セ 国民健康保険・介護保険など保険事業の安定的運営	1	2	3	4	5	セ
ソ 人権の擁護(プライバシーの確保、人権問題の早期発見体制の確立)	1	2	3	4	5	ソ
タ 福祉に関する広報活動	1	2	3	4	5	タ

問 35 市民のみなさんが助け合い・支え合いながら、安心して暮らしていくためのまちづくりについて、ご意見やご要望、アイデアなどがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、もう一度お確かめの上、
調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
6月23日（火）までにお近くのポストへ投函してください。



第3次四街道市地域福祉計画策定のための
地域福祉関連団体アンケート調査 ご協力をお願い

日ごろより福祉行政にご協力をいただき、ありがとうございます。

四街道市では、平成28年3月に策定した「第2次四街道市地域福祉計画」にもとづき、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、関係団体などと連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを進めております。


このたび、次期計画策定にあたり、地域福祉の中核を担う団体を対象に、各団体が実施している活動の状況や今後の方向性などをお聞きし、計画策定のための貴重な資料とさせていただくために本調査を実施することとなりました。

つきましては、お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月

四街道市長 佐渡 斉

ご記入にあたってのお願い

-
- 質問によって、○印は（ひとつ）（3つまで）といった、ことわり書きが付してありますので、説明に従ってご回答ください。例) 
- また、○印は、番号を囲むようにつけてください。
- ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、6月23日（火）までにお近くの郵便ポストに投函してください。（お名前やご住所の記入は不要です）
- 後日、調査票をもとに直接お会いして、より詳細なご意見などをお聞きする場合がございます。詳細につきましては、別途、ご連絡させていただきます。

【調査に関するお問い合わせ先】

四街道市 福祉サービス部 社会福祉課 担当：安井、秋山
〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
電話：043-421-6121（直通）

問 4 貴団体が活動を行ううえで他のボランティア団体や公共団体などとの交流や協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 区・自治会 | 2 民生委員・児童委員 |
| 3 地区公民館 | 4 シニアクラブ |
| 5 高齢者福祉施設 | 6 障がい者福祉施設 |
| 7 社会福祉協議会 | 8 ボランティア団体 |
| 9 NPO団体 | 10 商店会・商店街 |
| 11 保育園(所)・幼稚園 | 12 小・中学校 |
| 13 保護者会・PTA | 14 その他() |
| 15 他の団体などと特に関係はない | |

問 5 現在、貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1 活動のマナー化 |
| 2 人々のニーズに合った活動ができていない |
| 3 支援を必要とする人の情報が得にくい |
| 4 市民に情報発信する場や機会が乏しい |
| 5 メンバーが足りない、メンバーの拡大が難しい |
| 6 メンバーの高齢化 |
| 7 メンバーの性別に偏りがある |
| 8 様々な人が興味を持ち、参加しやすい活動ができていない |
| 9 地域コミュニティの希薄化 |
| 10 仕事などで忙しいメンバーがいるため、参加メンバーが少なく、活動に支障がある |
| 11 リーダー(後継者)が育たない |
| 12 他の団体と交流する機会が乏しい |
| 13 活動の場所(拠点)の確保が難しい |
| 14 活動資金が足りない |
| 15 活動に必要な情報や専門知識が不足している(適当な相談者がいない) |
| 16 その他() |
| 17 特に困ったことはない |

問 6 貴団体の活動情報は、どのようなものを通じて、発信されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 ホームページ | 2 広報誌 |
| 3 チラシ・ポスター | 4 メンバーなどを通じた口コミ |
| 5 その他() | |

問 7 貴団体は、新規メンバーの募集は行っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 積極的に行っている | 2 あまり行っていない |
| 3 わからない | 4 該当なし |

問 8 貴団体の活動に、市民の方が様子見として参加することはありますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 頻繁に参加がある | 2 たまに参加がある |
| 3 あまり参加がない | 4 わからない |

3. 地域包括ケアシステムなどについて、お聞きします。

問 9 「地域包括ケアシステム」(※)を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 聞いたことはあるが内容は知らない | 4 聞いたことがない/全然知らない |

※地域包括ケアシステムとは、介護が必要になった高齢者が、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が一体的に受けられる支援体制のことです。

問 10 「生活困窮者自立支援制度」(※)を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 聞いたことはあるが内容は知らない | 4 聞いたことがない/全然知らない |

※生活困窮者自立支援制度とは、働きたくても仕事がない、住む所がないなど生活上の困難に直面している方に対し、地域において自立した生活が行えるよう、一人ひとりの状況に応じた自立相談支援を行っていく支援サービスのことで。

問 11 「四街道市地域福祉計画」を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 よく知っている | 2 少し知っている |
| 3 聞いたことはあるが内容は知らない | 4 聞いたことがない/全然知らない |

4. 貴団体が活動する地域について、お聞きします。

問 12 地域の人が日常生活で困っていることには、どのようなことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 ひとり暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる
- 2 障害などのために必要な情報が届かず困っている人がいる
- 3 介助者がおらずひとり暮らしをしている高齢者、障がい者がいる
- 4 買い物などの外出が一人では大変な人がいる
- 5 草むしりや庭の手入れなど、体力が必要な事ができなくて困っている人がいる
- 6 食事づくりや洗濯などの家事をするのが大変な人がいる
- 7 日常生活での金銭管理がうまくできない人がいる
- 8 地域社会から孤立してひきこもりになっている人がいる
- 9 子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる
- 10 外出などの時に、子どもや高齢者を預けることができなくて困っている人がいる
- 11 虐待を受けている子どもや高齢者、障がい者がいる
- 12 仕事がなく生活に困っている人がいる
- 13 困っている人を知らない
- 14 その他 ()
- 15 特にない

問 13 日常生活で困っている人がいた場合、どのようなことをする必要が有ると思いますか。

(主なもの3つまでに○)

- 1 日常生活で困っている人を直接助けること
- 2 何に困っているかを理解し、情報を提供すること
- 3 何に困っているかを理解し、公的サービスなどにつなげること
- 4 困っている人を手助けできる市民につなげること
- 5 困っている人を手助けできるような地域の雰囲気づくりを進めること
- 6 地域の支え合い活動をするための場所をつくること
- 7 地域の支え合い活動に必要な資金をつくること
- 8 地域の支え合い活動に関心をもつ人を組織化すること
- 9 現状のままでよい
- 10 その他 ()

問 14 貴団体では、災害時の支援や孤独死・孤立死の防止などのために、区・自治会などを単位とした支援者が必要な個人情報共有することについて、どのように思いますか。

(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 積極的に共有すべき | 2 必要であれば共有してもよい |
| 3 あまり共有したくない | 4 一切共有すべきではない |
| 5 わからない | |

問 15 地域の活動が活性化するためには、何が必要だと思いますか。

(主なもの5つまでに○)

- 1 学校教育で重要性を教える
- 2 生涯学習で啓発活動を行う
- 3 ある程度強制的な参加体制をつくる
- 4 行政主導で組織づくりを進める
- 5 若い人の参加を促す
- 6 元気な高齢者の参加を促す
- 7 友人や家族と参加できる活動を増やす
- 8 身近な地域で気軽に参加できるボランティア団体などを育成する
- 9 地域内の交流を深め、よりよい人間関係をつくる
- 10 身近な地域に活動拠点を設置する
- 11 地域の活動に関する相談・問い合わせなどを一本化する
- 12 活動内容などについて積極的にPRする
- 13 企業に労働時間の短縮やボランティア休暇などの普及を要請する
- 14 企業に対して資金援助を要請する
- 15 ボランティア団体間の連携を強化する
- 16 興味や関心を持てる活動内容にする
- 17 時間的に負担の少ない活動内容にする
- 18 体力的に負担の少ない活動内容にする
- 19 人間関係が負担にならないようにする
- 20 活動の中で趣味や特技、専門知識を生かせるようにする
- 21 知識・技術を有する人材やリーダーを養成する
- 22 表彰を行うなど社会的評価を高める
- 23 交通費などの実費を支払うようにする
- 24 少額でも報酬が支払われるようにする
- 25 活動資金や物品などを補助する
- 26 事故があった時の補償体制をつくる
- 27 その他 ()

問 16 ふだん活動されている中で、地域の人々からどのような日常の困りごと、地域の問題などをお聞きますか。

問 17 問 16 の地域の問題の中で、貴団体の活動として対応できるものにはどのようなことがあげられますか。

問 18 貴団体が活動するうえで、他の団体に協力してほしいことはありますか。

5. 四街道市の現状についてお聞きします。

問 19 四街道市の地域での支え合いの現状についてどう思われますか。

(ア～エの項目にそれぞれひとつずつ○)

項目	そう思う	まあ思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない
ア 住民同士のつながり・支え合いがある	1	2	3	4	5
イ 地域で暮らしやすくなるよう、いろいろ取り組んでいる人が多い	1	2	3	4	5
ウ 困ったときには、解決できるよう相談できる／助けてもらえる安心感がある	1	2	3	4	5
エ 暮らしている地域は安心・安全であると感じる	1	2	3	4	5

6. 今後の活動についてお聞きします。

問 20 貴団体の活動に関することで、市や社会福祉協議会に対してご意見・ご要望などがあれば、お聞かせください。

問 21 貴団体の活動として、今後行政との協働でどのようなことに取り組めると思われますか。

問 22 その他、地域福祉の推進についてご意見・ご要望などがあればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、もう一度お確かめの上、
調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、

6月23日（火）までにお近くのポストへ投函してください。

令和2年度四街道市保健福祉審議会 部会割振り（案）

○地域福祉部会 審議事項：第3次四街道市地域福祉計画

No.	選出区分	氏名	備考
1	学識経験	澁谷 哲	淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科教授
2	学識経験	佐藤 満	元四街道市職員 鹿放ヶ丘区 区長
3	福祉関係	鶴之沢 功	四街道市民生委員児童委員協議会
4	福祉関係	矢口 廣見	社会福祉法人四街道市社会福祉協議会
5	市民代表	伊佐 勉	公募選出委員

○高齢者部会 審議事項：四街道市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（第8期計画）

No.	選出区分	氏名	備考
1	学識経験	許斐 玲子	社会福祉法人双樹会地域密着型特別養護老人ホームリバーサイド施設長
2	保健関係	谷口 美保	四街道市保健推進員
3	福祉関係	秋元 克之	四街道市シニアクラブ連合会
4	医療関係	大内 健太郎	公益社団法人千葉県印旛郡市歯科医師会四街道地区会
5	市民代表	長澤 志保子	公募選出委員

○障害者部会 審議事項：第6期四街道市障害福祉計画及び第2期四街道市障害児福祉計画

No.	選出区分	氏名	備考
1	保健関係	古川 恭子	印旛健康福祉センター副センター長
2	福祉関係	利光 美亜子	四街道市民間保育園連絡協議会
3	医療関係	松島 弘典	公益社団法人印旛市郡医師会四街道地区医師会
4	医療関係	鈴木 博文	四街道市薬剤師会
5	市民代表	森 邦子	公募選出委員